7
神呪のネクタール
しんじゅ
原作
吉野弘幸
漫画
佐藤健悦
Champion RED Comics
RED

神呪のネクタール⑦
〈原作〉吉野弘幸〈漫画〉佐藤健悦
Champion RED Comics
RED

人物相関図

敵対

関心

友好

レムリアンカンパニー

サクラ・シャクンティーラ・アドニエラ

アダール侯国の姫。"呪乳（ネクタール）"を与えた相手を無敵の戦士に変える"神妃（アンブロシア）"。

ドルネア

ドワーフの姫。サクラと同じく"神妃（アンブロシア）"の力を持つ。

カイ・ワタリ（グレイ・エンフィールド）

異世界より召喚された"マレビト"。"呪乳"により無敵の戦士に変身する。恩人・グレイの名を借り、レムリアンカンパニーの少佐として行動中。

リギア・クラッツ

レムリアンカンパニー大尉。グレイに尊敬の念を寄せる。

ジャック・ディアス

レムリアンカンパニー海軍大佐。グレイの親友だった。

個人的因縁（交渉中）

ハサス

鈴悧（すずり）

幼い少女ながら、暗殺者集団ハサスを統べる"教母"として君臨する。

ギル=ガーラ

ハサスの戦闘員。シズナとともにヤシマノ国のアラギシを狙うが…。

シズナ

保護

クラーク

ダーラ共和国

ドクター・ヴェラント

"マインド・イーター"と呼ばれる種族。相手の脳から直接知識を吸い取る能力を持つ。カイやクラークの"マレビト"としての知識に興味を持っている。

内通

ヤシマノ国

アラギシ従二位

ヤシマノ国北方戦線駐屯地司令官。野心的な男で、密かに敵国であるダーラと内通し、北方を支配しようと画策している。

コバキ従四位

アラギシの副官。アラギシとともにダーラと通じている。ハサスが匿う"マレビト"クラークを狙う。

カナヤ従六位

アラギシの部下。階級は低く、女性であることからヤシマ軍では下に見られている。

敵対

前巻までのあらすじ

異世界に召喚された"マレビト"カイ・ワタリ。"呪乳（ネクタール）"の力で無敵の戦士に変身する。東方の国「ヤシマノ国」を訪れたカイ一行は、暗殺者集団"ハサス"の襲撃を受け、サクラ姫をさらわれる。救出に向かったカイは、コバキらの陰謀により遭難、ギル=ガーラの手を借りてハサスの教母・鈴悧に面会し、助力を申し込む。ハサスを包囲したヤシマ軍を止めるべく、独り大軍の前に進み出たカイだが…!?

目次 CONTENTS

初出／チャンピオンRED2019年2月号～5月号、7月号

第25話／天翔ける脅威

ズオォォ
俺は
レムリアン・カンパニー
所属
アルビオン王国
陸軍少佐
グレイ・
エンフィールド!!

ザッ
訳あって
ハサス並びに
この北の地の民たち
から
交渉人を請け負った!!!

……!!
生きていたか
…悪運の強い
このまま衝突し
無駄な血を流すよりも
まずは言葉を
交えたい！
当方には
貴殿らの欲する
モノがあるはずだ
──俺は
それをこの目で
確認した!!

撃ちますか?

――ならぬ

ヤシマ武士の末裔として
耳長や棄民ごときに
腰抜け呼ばわりされる
訳にはゆかぬからな

コバキ殿!!

自分もいかせて
いただきたい!!

貴殿らは後方に
いることを条件に
同道を許された筈

差し出口は
謹んで貰おう

……っ……

我々が欲するモノとは何だ？
バカッ

俺は
ハサスの里でマレビト…クラーク氏に会った

ヤツを引き渡すのか？
いや

話にならんな
──やはり力尽くで貴様らにわからせるしかないようだ

クラーク氏は
ハサスの里で四台目の無線機を完成させたぞ
ピクッ

また彼は
三台目の無線機が
何に搭載されたかも
教えてくれたよ
……俺は
あれが何だか
知っている
──ダーラ軍の
蒸気戦車だ
……!!

お前たちは
国を裏切り
ダーラと秘かに
結んでいる
──そうだな?

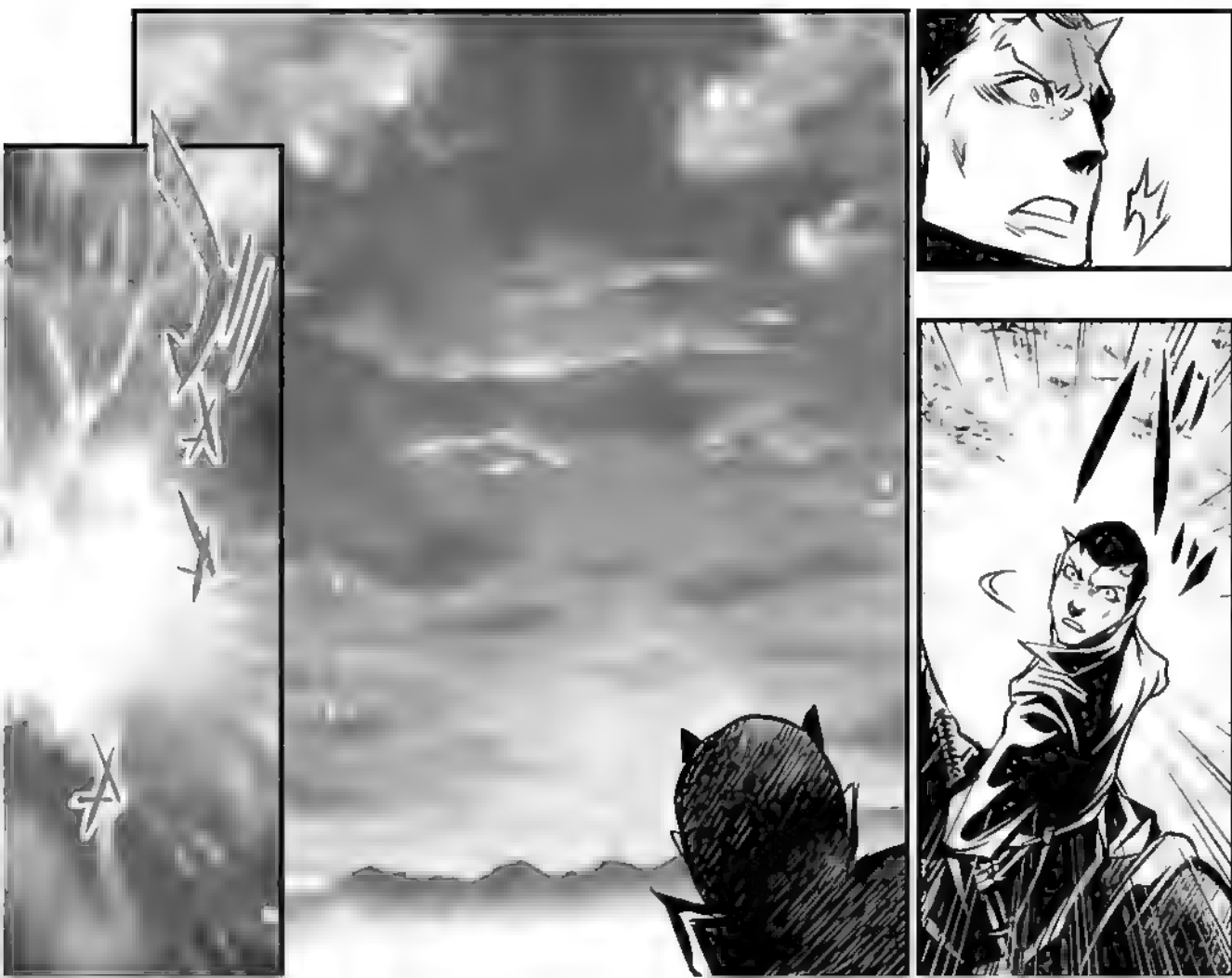
言いがかりだ

そうか?
クラーク氏は
お前達の依頼の
図面を残していた
立派な証拠になる
とは思わないか?

俺を斬っても無駄だ
四台目の無線が完成された今
俺たちはいつでも首都スオウに伝えることができるぞ
──お前達の裏切りをな
……要求を言え
まずはこの場からの撤退を
そしてダーラとの繋がりを断ち
ハサスと北の民への干渉を止めろ

何だ…この音

――さあ
返答はいかに!?
コバキ従四位!!
お前にも
聞こえるか
ああ…
初めて耳に
する音だ

返答は『否（いな）』だ
我々は全ての交渉を拒否する
いいのか？ 粛清されるぞ
それはない
何——!?
我らの援軍が

いまーーー
やってきた
まさか……!!!

なんだ…あれは…!?
怪物…!?
龍!?
いや入道か!?
ハサスの隠れ里
……!!
空を…飛んでいるだと……!!?

馬鹿な…っ!!
あれは――
……っ!!
飛行船…!!?
ダーラ軍のか!

ゴゥゥ
見ろ
天翔ける船だ!!
なんと荘厳な
眺めか!!!
ヒトはついに
科学をもって
空をも自在に
飛ぶ力を得たのだ!!
首都に告げたくば
告げるがいい
――貴様らが
このダーラの
新兵器の前に
生き延びることが
できたならばな

ビョウ
飛行船から投下……って…
爆弾!!?
爆弾が落ちてくる!!
みんな伏せろっ!!!
ぐわぁっ!!!

くそっ
上から
やられたのでは
塹壕も土嚢も
意味がない!!

奴らめ…
なんという
モノを……!!

銃弾では
焼け石に水か――

砲を真上に向けろ!!

あの船を撃つんだ!!

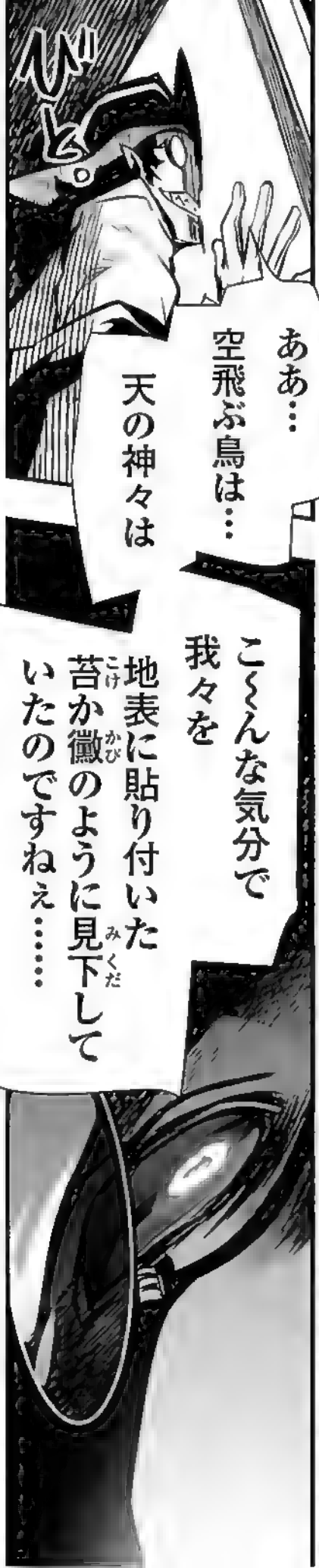
ガラララ

無理ですよ!!
こいつらは真上を撃つようになんか出来てないんです!!

ク…ふふ

くふふふふぁははは
ふへほほほほっっっ

素晴らしい!!
実に――
スバラシすぎるっっっっ
かつて!!!
あまたのヒトが
夢見て
果たせなかった――

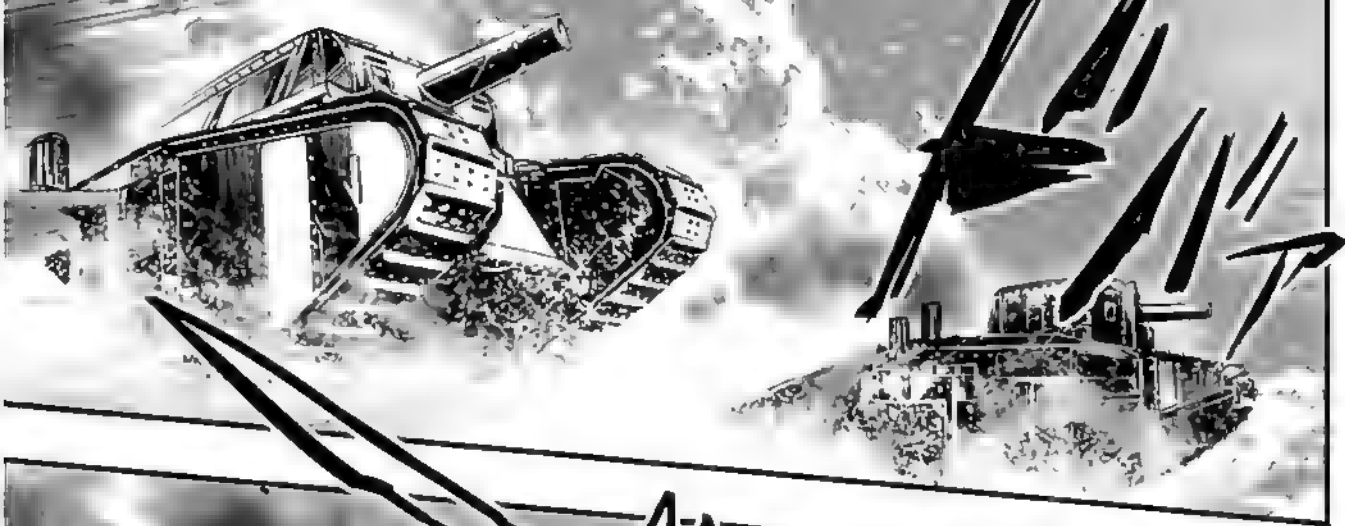
大空が!!!
ついに我々のモノとなりました!!!
ああ…空飛ぶ鳥は…天の神々は
こ〜んな気分で我々を地表に貼り付いた苔か黴のように見下していたのですねぇ……

高度を充分にとれば
銃弾程度では傷は──
絶対に!!!
つきません!!
それに大砲の類は基本──
〝真上に向けて〟撃てるようには設計されていません
──意味がありませんからね
つまりこの飛行船は──
無敵!!!!!
──ということです

ズゴゴゴ
空飛ぶ船…
夢物語として語られてはいましたが…
ゴゴゴ
実現したらこんなにも恐ろしいものとは……!!
くそっコバキたちめダーラと結んでいたとは…!!

……ッ!!!

街への攻撃をやめさせろ!!
あそこにいるのは非戦闘員だ!!
違うな
!!?

あそこにいるのは
棄民たち
——つまり
塵芥(ゴミ)だ
ゴミは
どうすべきだ?
…そう
焼き払うのが
手っ取り早い——
貴様ぁ……ッ!!!

グル
我ら北方第二十三軍はダーラ共和国軍と盟約を結んだ!!
生き残りたいものは我に従え!!!
ザワ
──迷えるものは見よ!!

ドバァ
ズリズキ
ギャカカ
なっ…!!
ダーラ軍!!?
既にダーラの戦力は
我らの協力で上陸を
果たしている!!

ディアス殿…

くそ…取り込まれたか

とりあえず逃げるしかないな
皆
くれぐれも気取られるな
興奮しているヤシマ兵たちの餌食になる

ゴゴゴ
くっ……
勝負あったな

では今度は我々から交渉を申し出てやろう

キ

――マレビトをクラークを差し出せ

それはできない

ならまず貴様が死ね

させるか!!
ギル=ガーラ
……!!
――もはや我らに
勝利はない
ならばせめて――
勘違いするな
貴様を
守るためではない
ザッ

刺し違えてでもヤツの首を取る！
…………!!
駄目だ!!!
だが空から見られた以上里の位置ももう明らかになっている筈――
まだ諦めるなギル
――町も陣地も焼かれたが里はまだ健在だ
ヤツらがその気になればすぐに焼かれてしまう!!!

ならば
里も放棄すればいい
なんだと…!?
いいか皆!!!
俺が聞いた
ハサスの歴史は
常に苦難に満ちて
いた
だが
それでも皆
生き延びて
きたのだろう!!?

今回も
それは変わらず
数多(あまた)経てきた
苦難の一つに
過ぎない!!
北の民は
必ず生き残る
——違うか!!?

ヤツにこれ以上言わせるな!!
はっ!!
ジャキ
!!!
シズナさん頼みがある
?
お前達何をしている!!
この生き残り共を蹂躙しろ!!
お…おおっ!!!

退くぞギル!!
──皆も聞け!!
生きて命を繋ぐんだ!!
それが明日の勝利に繋がる!!!
ドドドド

第26話／人質救出作戦

グレイを殺せ!!!
棄民共はここで根絶やしにするのだ!!!
来るぞ退け――ッ!!!退却だ!!!
シズナさん!!
お任せを

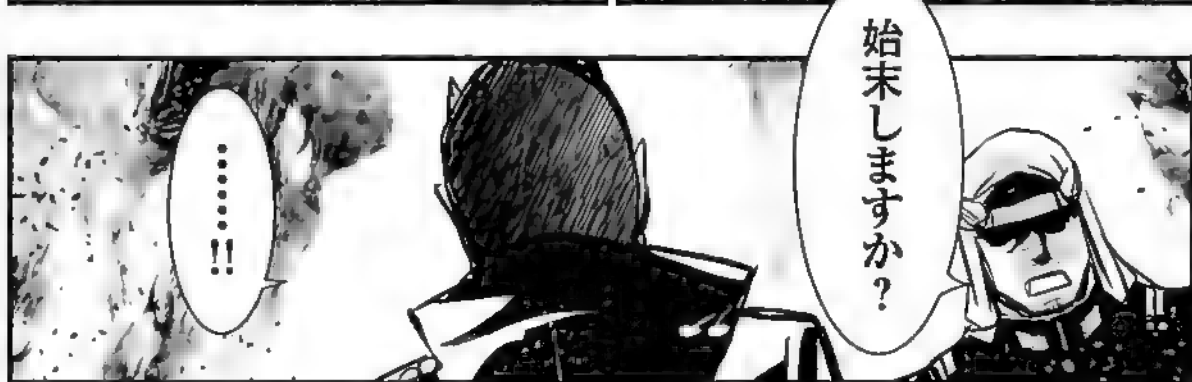
!!!
あの氷姫かッ!!
小癪な…!!

くっ…!!
見えん…
敵はどこだ!?
――!!
消えた…!?

ダーラがアラギシ閣下に この地を任せる条件は マレビトの引き渡し…

なんとしてもヤツを―クラークを押さえねばならんというのに

閣下!!

敵の負傷者と
街の住人たちが
相当数残って
おりますが……
始末しますか？
……!!
そうか…
生かしておけ
使い道がある
は!!

こっちだ急げ!!
負傷者を優先して運ぶぞ!!

どのくらい逃げられた?
半分も脱出出来てはいないかと…

くっ…
里の位置も知られた筈だ
これからどうするつもりだ?

ヤシマ
北方司令部

はぁ!!?

マレビトがまだ
捕まえられて
いないですとぉ
!!?

残念!!!
——どころの話ではありません
約束が違います
違い過ぎです!!!

そのために巨大かつ鈍重にならざるを得ない――
ですが!!!
もっと小型かつ軽量かつ効率的な推進機関があるのは分かっているのですよ!!!

実現まであと一歩…必要なのは
マレビトの!!!
さらなる知識なのです!!

また飛行船よりもさらに進んだ航空兵器が存在することも
バッチリ!!!
分かっています

私は早くそれを手に入れたい!!!
んん……ん…
通信器
そして航空兵器
この二つは確実に世界を変える!!!
ぱッ

私は死ぬほど楽しみにしていたのです

未来の知識を詰め込んだ脳を啜り

その知識をゆっくりたあああくつぷりと味わうことを……

彼らとて望んで後手に回ったわけではない筈
これから挽回していただきましょう

ボラール大佐
ダーラ軍極東方面軍司令官

…ですから どうか——

この国全てを焼き払うようなことにならぬよう

自助努力を惜しまずに居ていただきたいものです

気付かれてはいないようだが…
迂闊に動けばあっという間にやられるな
しばらくここに籠るしかないか…

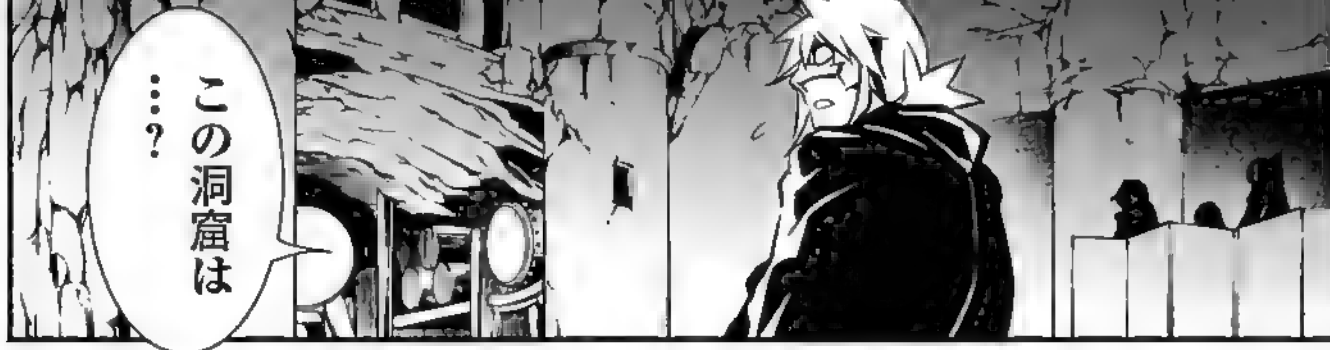
鈴悧さま

グレイ少佐がおいでです

かい

皆をみちびきよう全滅をさけてくれた

〝はさす〟の先祖となった人々がのこした寺院じゃ
教母たるわらわのいのりの場でもある
シュル

このほこらから
谷全体にひびいて
それは勇壮なものじゃぞ
……
そなたにも
みせてやりたかったが
……さて
無事に春を
迎えられるやら

ええ
俺も知識としては知っていましたが
まさか実現されているとは……
弱点はないのか？
…あれは巨大な袋の中に空気より軽い気体を詰めて浮いている
だから基本的に穴が開けば終わりだし
足も遅く

鈴悧さまは こちらか!!?

なにごとじゃ？

今し方 ヤシマ軍から 使いの者が 参りました

――明日正午までに マレビトたる クラーク殿を引き渡せ

さもなくば 我が方の兵の生き残りと シロベッツの住人の命の 保証はしない

と!!!

みんなの命には換えられない

僕が行きますよ

ギュ

チャリ

クラーク様!!

わかってくれ キキ

行けば
そなたはころされる

偵察に出た者達からの報告で

ダーラ軍にヴェラント博士が同行していることが確認された

ヴェラント…？

ダーラ軍の科学技術開発の中核となる人物だ

近年のダーラの新兵器ほぼ全てに関わっていると言われている

ヤツは吸血鬼の亜種──マインドフレアだ
マインドイーターとも呼ばれている

奴らは他人の脳味噌を喰らって
その知識を自分のものにすることができるのさ

もしクラーク殿が投降すれば

おそらくは文字通りヤツの餌食に――

無駄だろうな
コバキとアラギシが絡んでいる以上

彼を引き渡したところで約束が守られるとも思えない

となると

さて…われらはどうするべきなのじゃろうな

――それだけは間違いありません

ギル＝ガーラ

……ディアスたちの部隊は無事だと言っていたな

偵察に出た者達が確認した

だが周囲は完全に包囲されていて接近は不可能だ

そのものらとれんらくがとれれば

いろいろ可能性もひろがるのだがのう

それこそかれらにくらあくの無線機があればことは簡単なのじゃが……

たしかに戦争を変えるのあれは

ええ

こちらに渡ってきた直後は

よく無線なしで軍隊を動かせるものだと――

……待てよ？

無線がない時代――!?

彼らと連絡を取る方法
なんとかなるかもしれません!!
まことか?
ええ あとは飛行船と戦う方法さえ見つけられれば――
それならばわらわにまかせよ
むろんそなたの力も借りるが
俺の力…?
…忘れたか 鈴悧様は神妃であらせられるのだぞ
あ……!!
やれやれ
そなたがいつまでも思い出さぬので やきもきしておったぞ

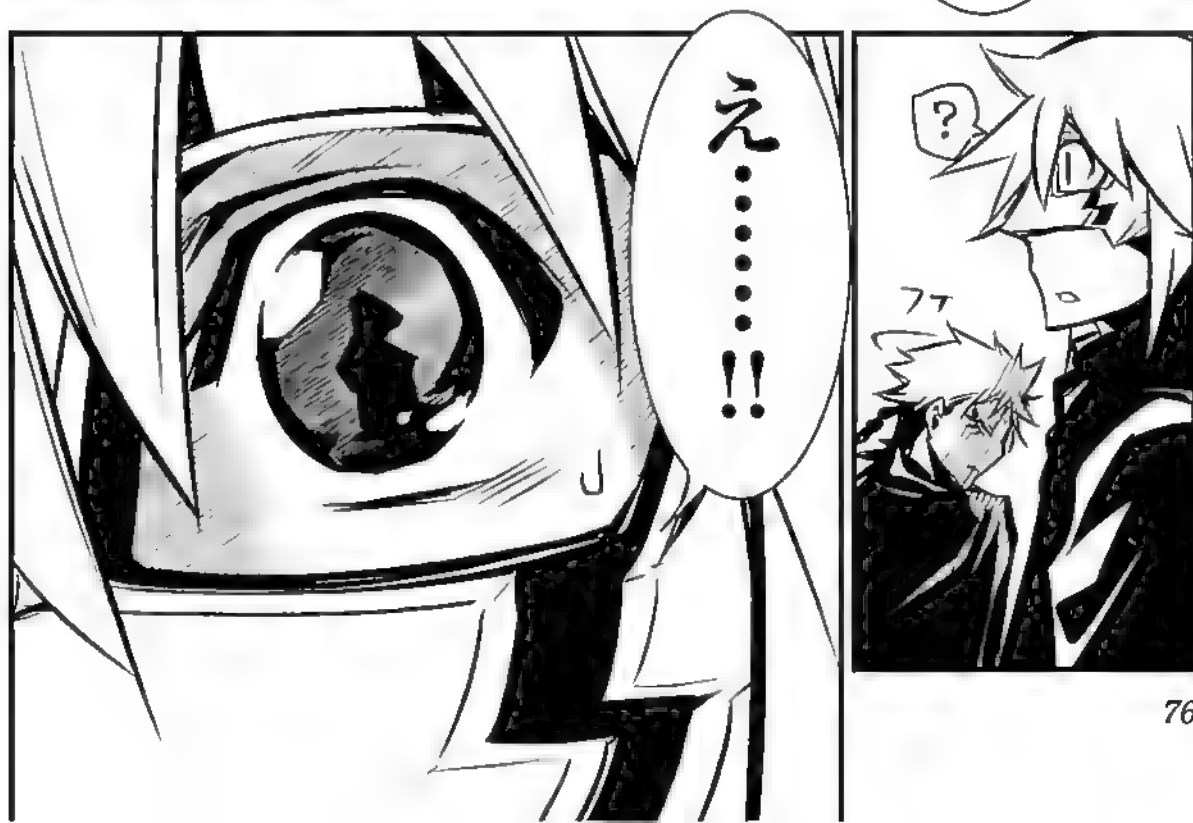
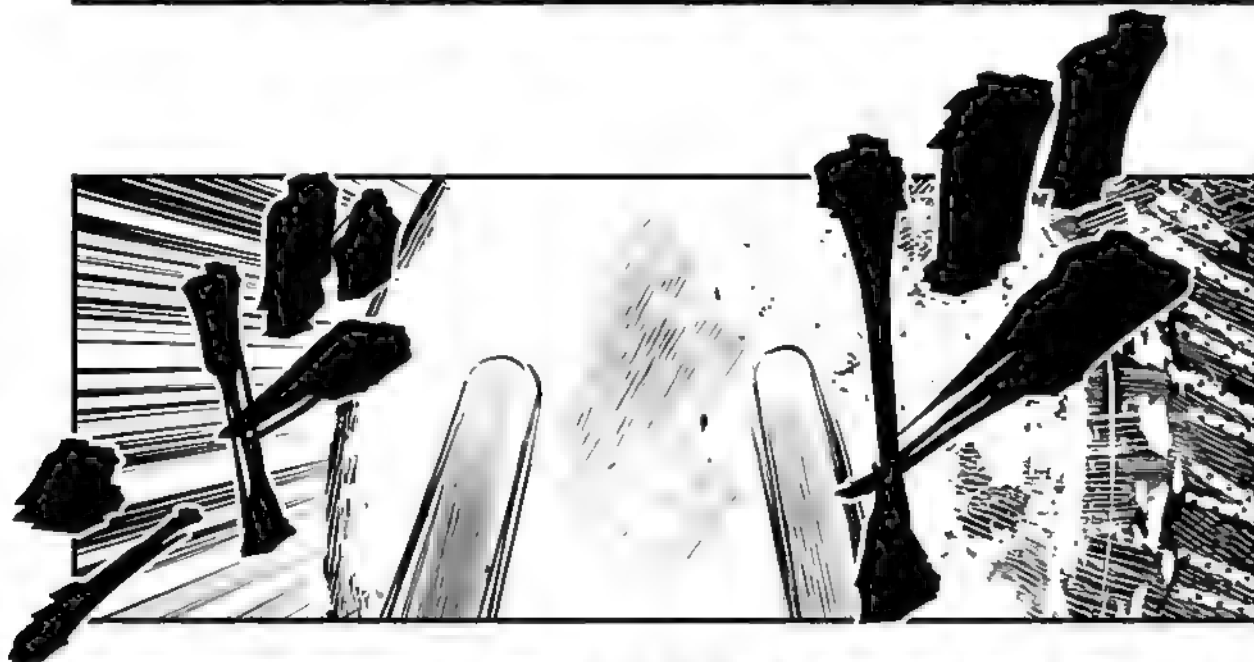
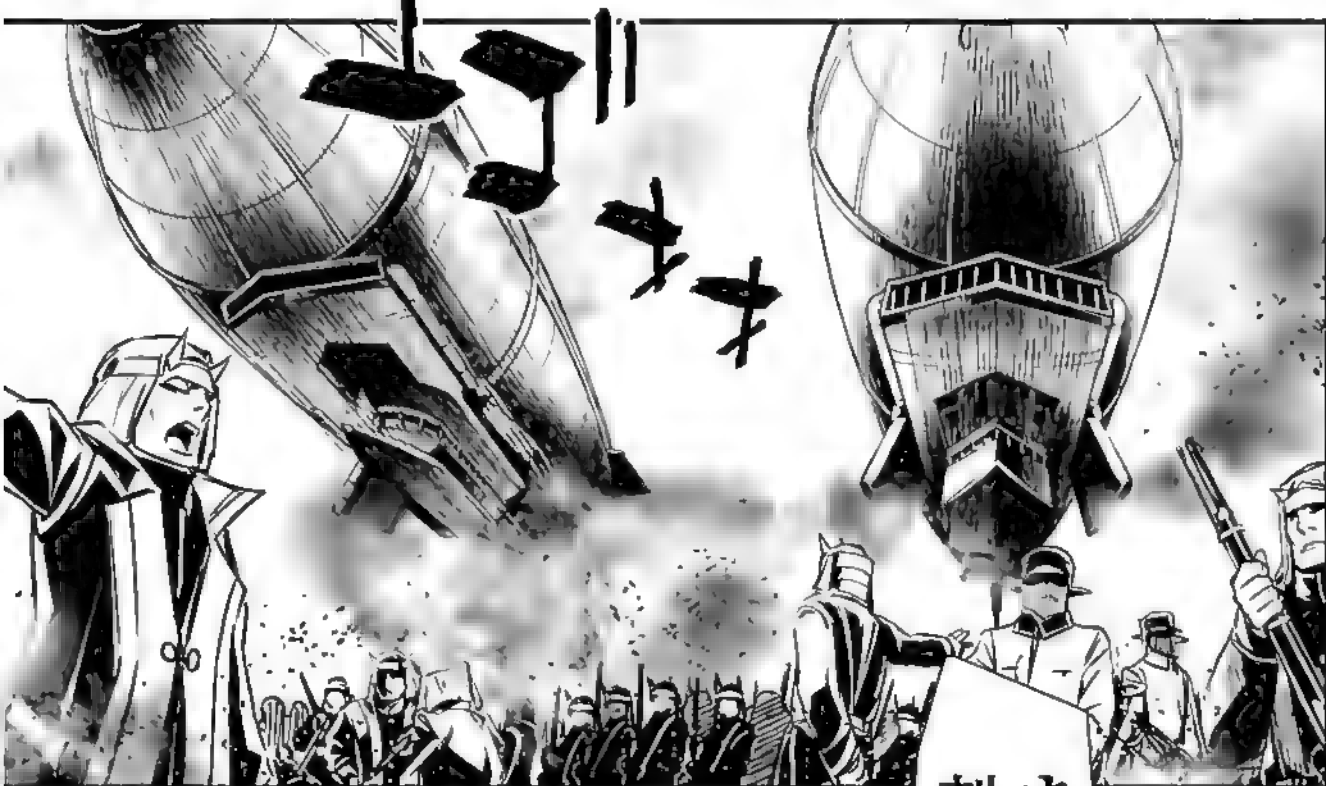
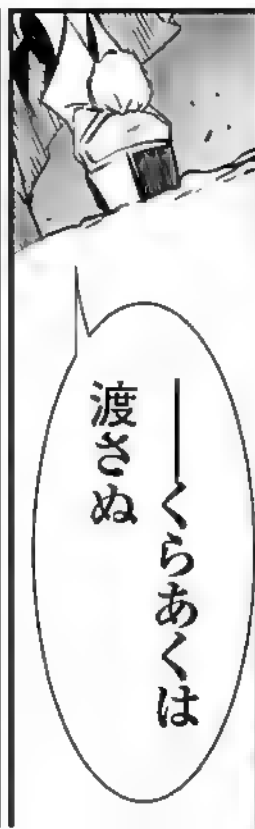
いや…その
鈴悧さまの胸を
吸うというのが
どうにも
現実感がなくて…
仕方ないの

——では
吸いやすく
してやろう
ク…

え……!!
?

あーーっ!!!
ドド
ドドッ
ドロロロ…
ドドド

ドドド
なんだ!?
太鼓の音!?
ドロロロ
やかましいですねえ
なんですかアレは
おそらく神頼みでもしているのでしょう
野蛮人の迷信です
ドドド
ドロロロ

まもなく刻限です!!!
ザ
ザ

クラークはどうした？

——くらあくは渡さぬ
それが〝はさす〟の教母たるわらわの決定じゃ

ギリ…
それはどちらかな？
裏切り者のアラギシ殿
愚か者が…!!!
後方部隊に伝えよ!!
捕らえた棄民共を抹殺せよと!!
閣下あー!!!
大変です!!!
人質を捉えた後方の陣地に——

ドドドド
レムリアンが奇襲を!!
突撃ーーーッ
人質を解放しろ!!!
連携しただと!?
馬鹿な…!!
さてぬしよ
これまでいいようにやってくれたの
だがそれもここまでだ

わらわのちぶさに
御座す神
ばさすの民の
まもり手よ
な…っ!?

わがつぼみに

口づけしものに

神の呪いと
祝福を――

神呪世界紀行

【〝ハサスの教母〟鈴悧】

ハサスや北方の棄民たちの中には、その『忌避された人々の吹き溜まり』という性質から、長い時間をかけて多種多様な人種が集まり、その混血も進んだことで他には見られないレアな種族や、一代かぎりの特異な能力を持つ者も多い。

他の地域では完全に希少種とされる純血の〝氷姫(グラキエス)〟の存在も確認されており、また、ハサスの首領を務める〝教母〟については、近年になってどうやら自在に外見年齢を操る能力があることが明らかになってきたが、その能力も由来も完全に不明であり（まれに本人は自身が『〝サキュバス（淫魔）〟のようなもの』と語ることはあるようだが、本来サキュバスには外見年齢を操作する能力はない）、教母という称号自体、代々受け継がれるものであるのか、あるいは、実は長い寿命を持つ一個人がずっと務めているのか、諸説あり定まってはおらず、一説には、教母はそもそもヤシマノ国の北方先住民が崇拝した神の血を引く、喪われた神々に連なる血統を持つ者である、いや、実は現在の教母自身がその〝喪われた筈の神〟だという者もいる。

だが、それらの問いに対し、当の教母自身はただ黙って微笑むだけで、決して答えようとはしないという。

第27話／吹き荒れる北風

第27話／吹き荒れる北風

彼女は
その淫魔としての
性を以て――
少女と大人の姿を
自在に行き来
できるという
成熟しているのに
しかし無垢な
瑞々しさに満ちた
その果実を――
っぁふ…
んんっ…

あっ…
おれは夢中で味わい続けた――
ううっ…
ふっ……

ドリュオオオ
!?
なにが…!?
オオオオ

ノルズーリ（北の風神）…
わが北のたみを
まもりし神よ

いまひとたび
そのちからで
われらを救いたまえ…

閣下ッ！
背後からの敵により
人質は全て奪還されました!!

このままでは挟撃されます
ご指示を!!

互いに連絡など出来なかった筈だ…

なぜ
連携して作戦行動することができた…!?

〝トーキングドラム〟です
とおきんぐどらむ…？
なんじゃそれは
ディアス大佐の船に乗せて貰ったとき
彼に尋ねたんです
通信器がない状況で
船同士の連絡をとるにはどうするのかと
普通は旗――
旗旒信号だろう
ええ
ですが大佐の艦隊では――
南方のある民族から学んだ太鼓の叩き方とリズムで情報を伝える方法も使っていたそうなんです

それが
とおきんぐどらむ？
航海中退屈だったので…大佐に
叩き方を教わりました
では
それを使えば――
ディアス大佐たちの
部隊に作戦内容を
伝えることが
できます
あのたいこの音は
しょうりを祈るもので
あったと同時に――

それじたいが
しょうりを告げる
音でもあったのさ
くっ…
怯むな！
禁呪の傀儡とはいえ
所詮は一騎のみ!!
数に勝る上
飛行船の加護も
ある我らの勝利に
揺るぎはない!!!
ギリ
はて…
一騎のみ？
それは一体
何の話じゃ？

ズザザザ
!!!
ジャカ
小賢しい!
所詮は雑兵共よ!!
かかれかかれえ——ッ!!!

…!!

ゴウオオ

ググ

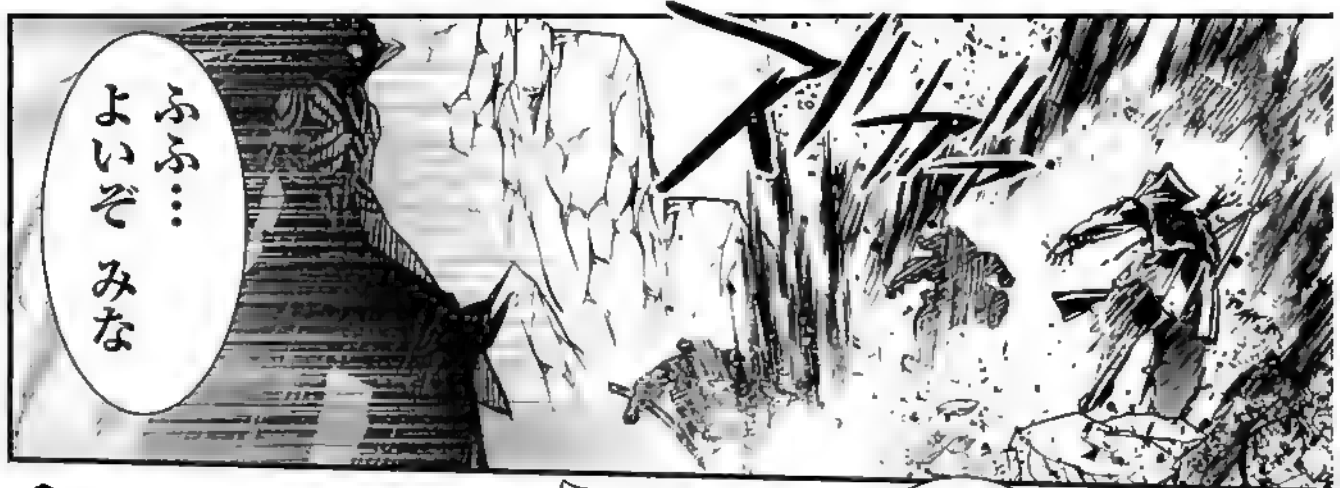
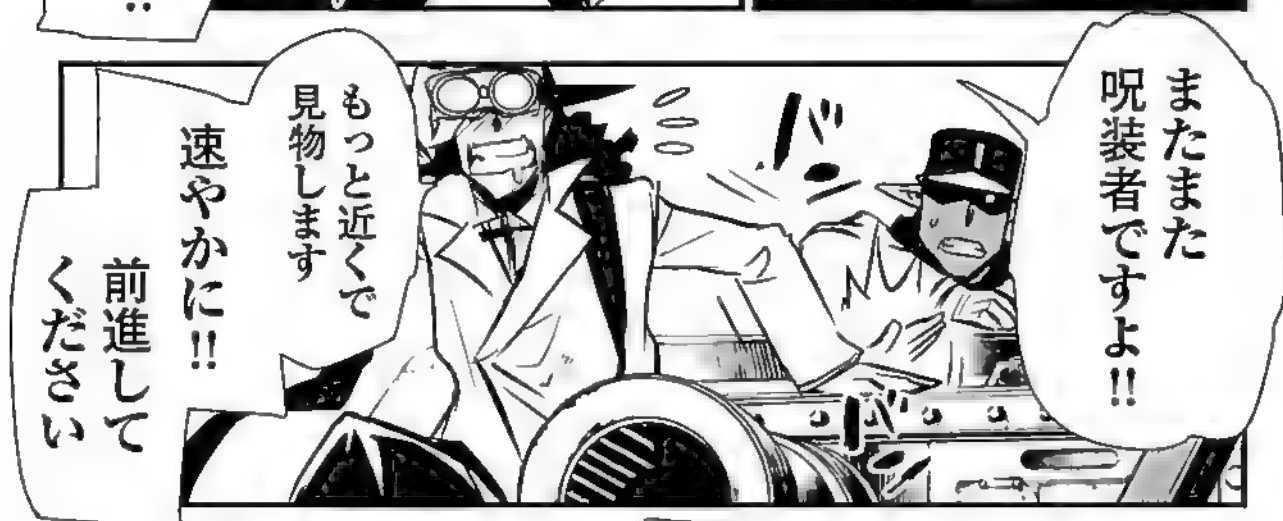
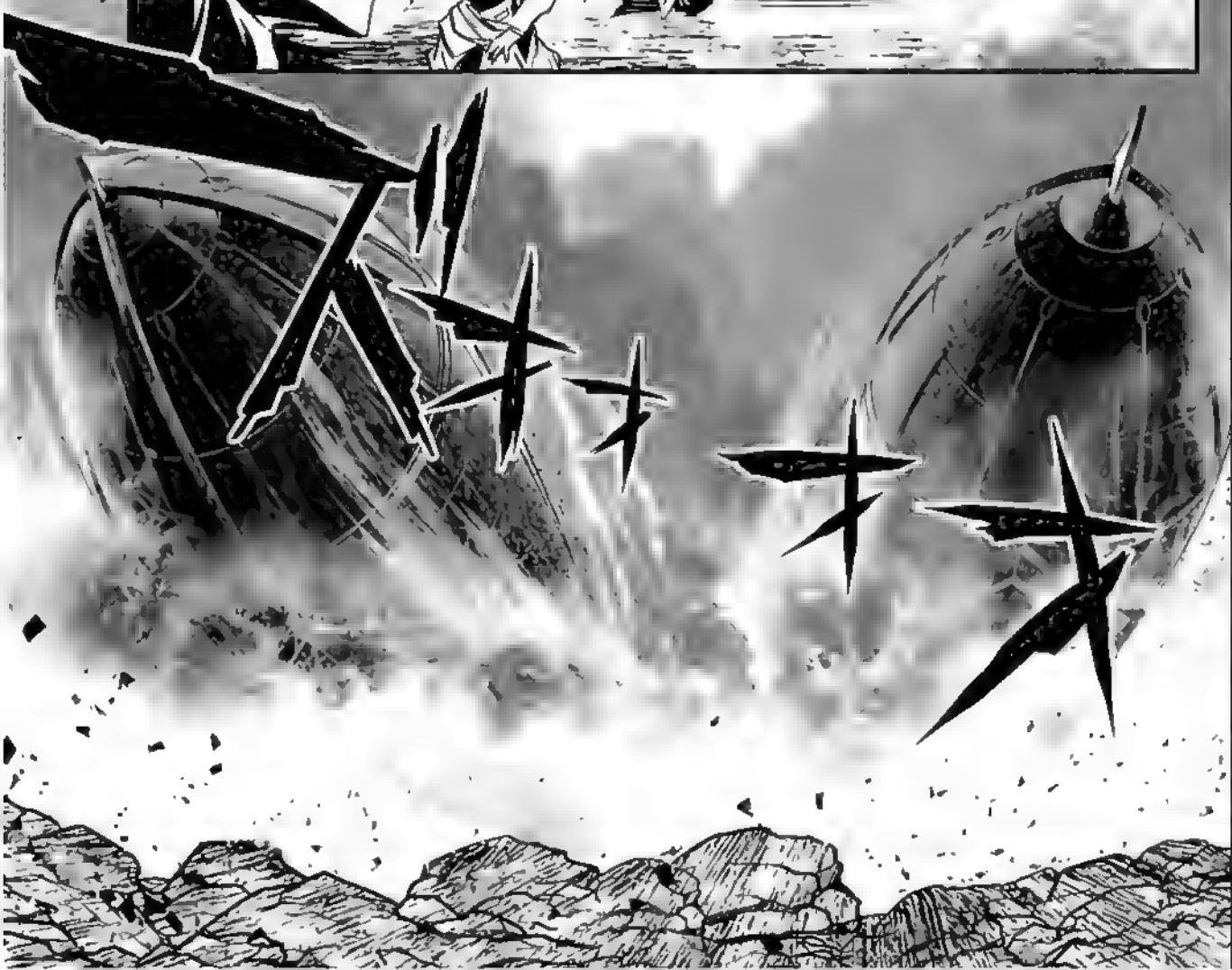
ヒュギィイイイ

ザッ
くっ!!
バケモノめっ!!
ドゴッ
させるかッ!!!
ズザン
ザザァ
ふふ…
よいぞ みな
北の民の
ちからといしを
みせつけるのだ!!
ちいっ…
あの小娘を
捕えろ!!!
ババァ

ついに反撃の刻は来た！
ズザッ
行くぞ!!

我らの守護神たる
北風神(ノルズーリ)が
ついている!!
怯むな
同胞たちよ!!

うわぁぁぁ——ッ!!!

面白い!!!
これはまた実に!!
面白いですねぇ!!
ハァ
またまた呪装者ですよ!!
バン
もっと近くで見物します
速やかに!!前進してください
閣下このままでは…!!
ゴオオ
ジリ
ドドド

砲撃!!?

我々には飛行船がついている!!
禁呪の傀儡とてあれには勝てまい!!
進めッ
棄民共を焼き払うぞ!!!

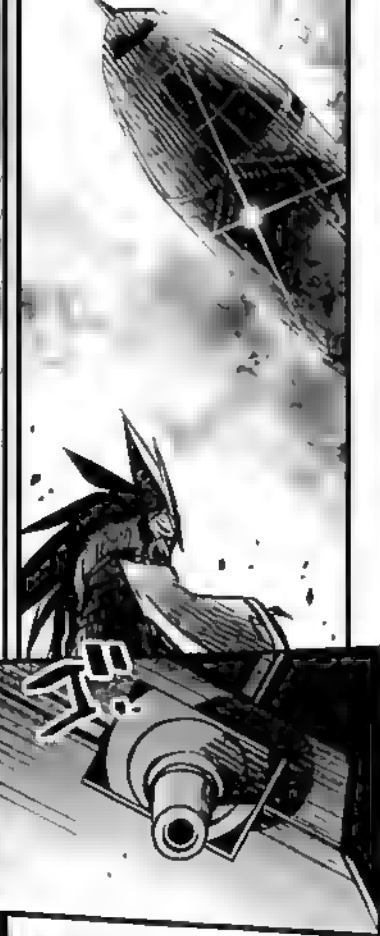
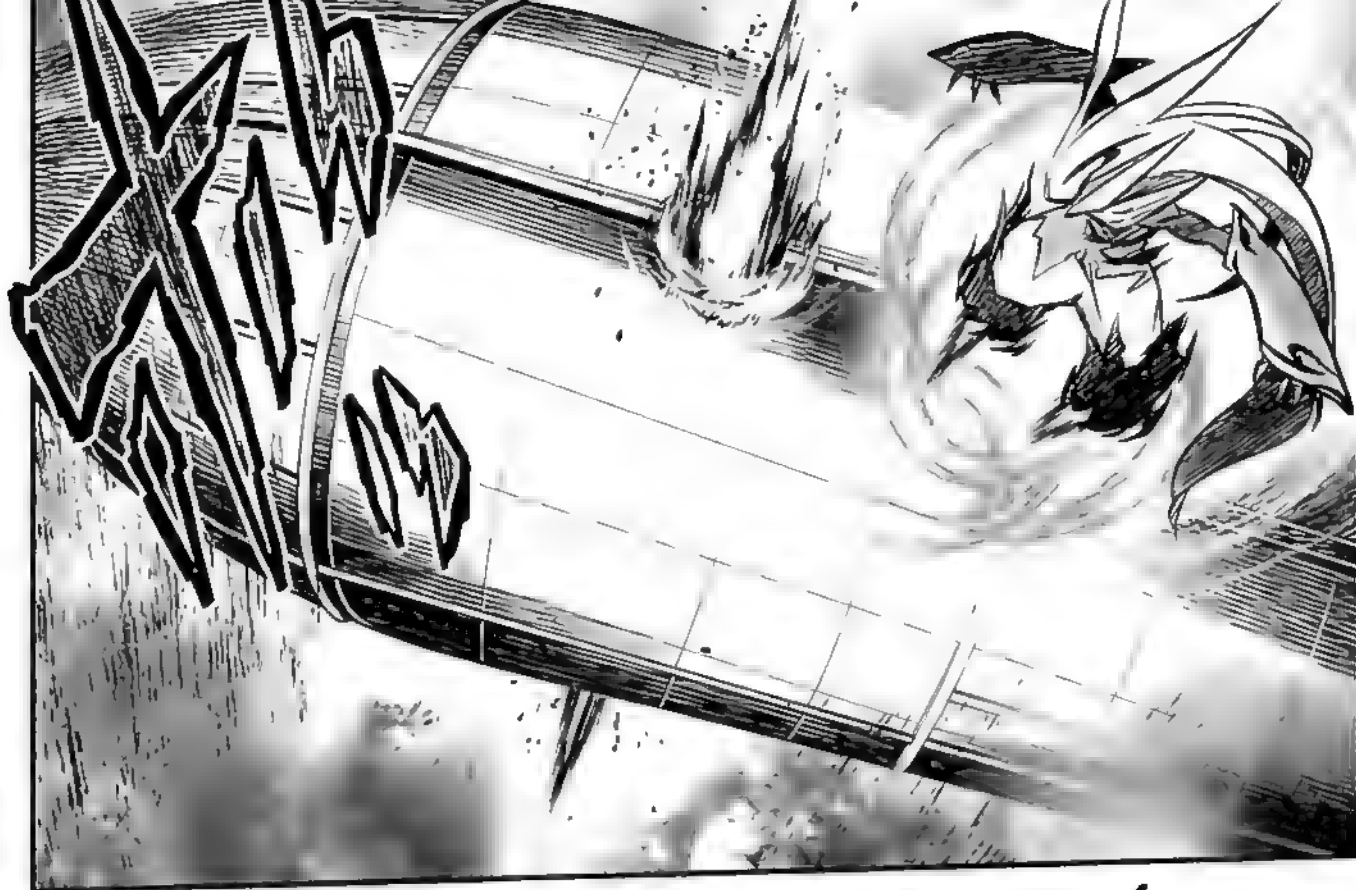
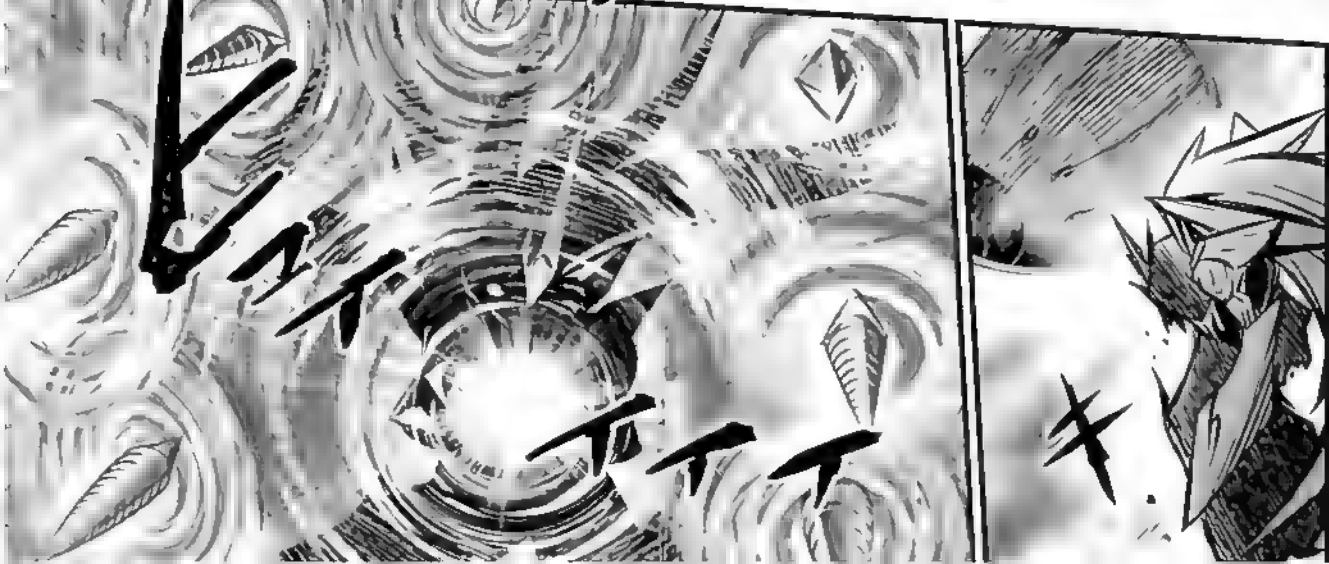
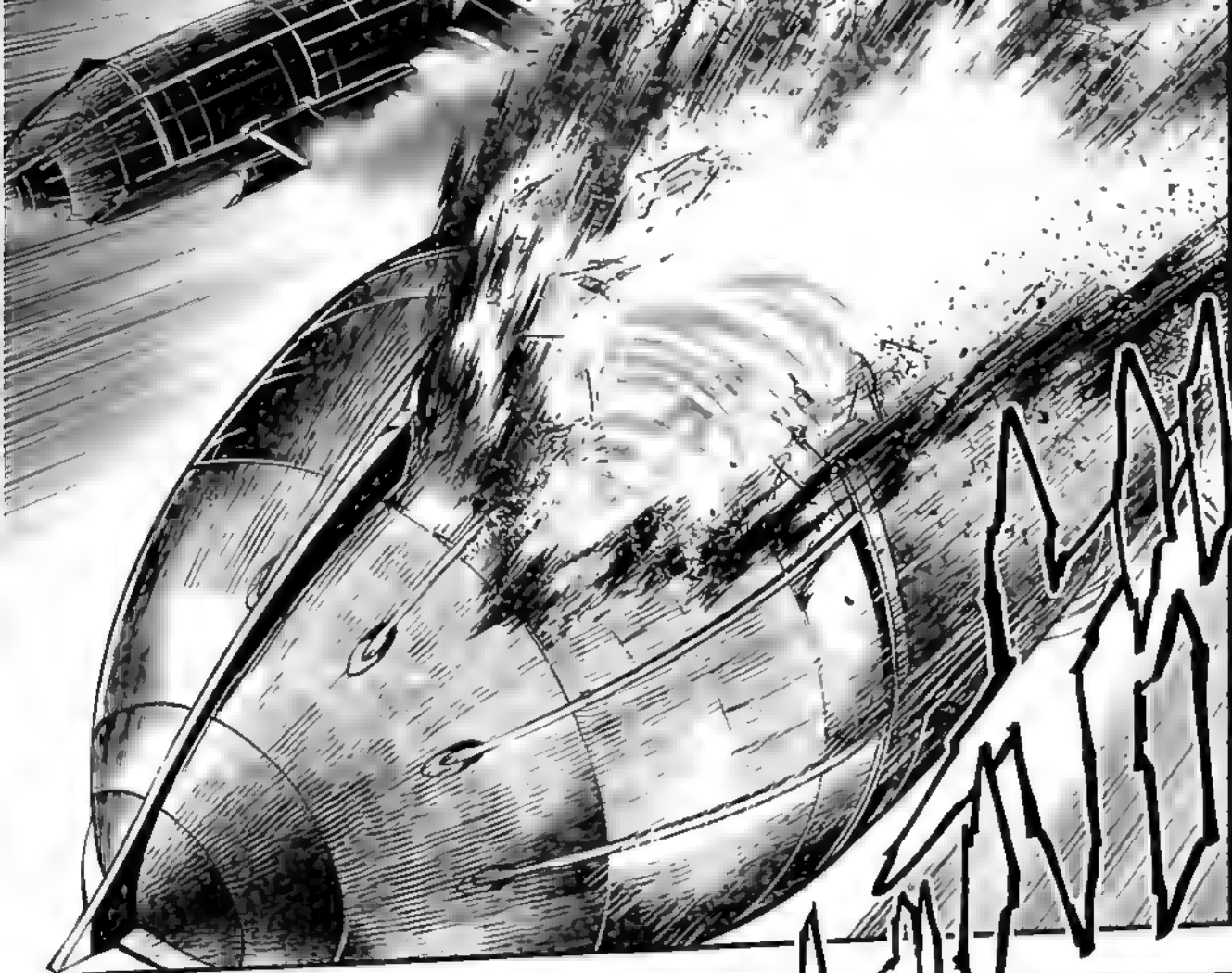
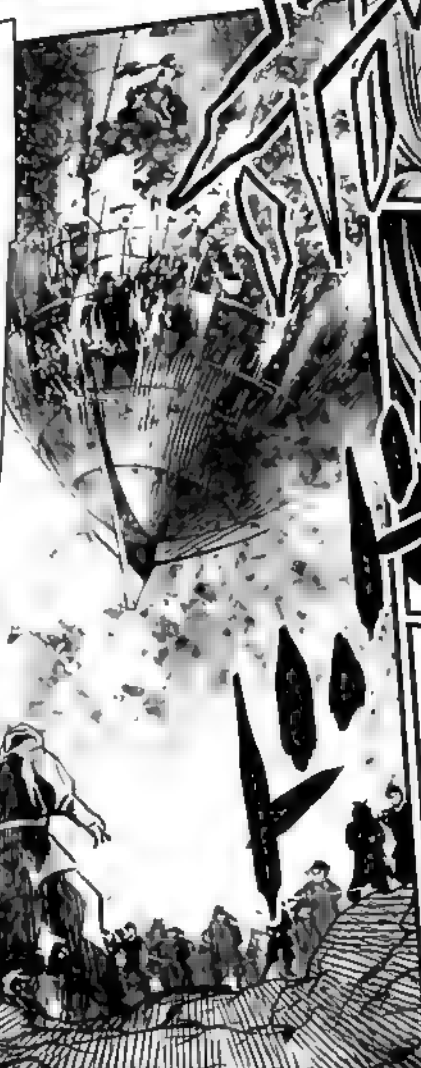
ズ
ガ
ガ
カイ!!
ゴゴゴ…
な…!!?

翔んだ……!!?

撃て
撃ちまくれ!!!
迎撃だ!!!
ドドドドド
バララ

バキッ
ギュリリイイイ

ゴゴゴ
ズァァァ
馬鹿…な…!!
ビュイィイイ
キ

たっ…
退避――っ!!!

うわぁぁ――ッ!!!
コバキ従四位!!
なん…とっ…!!
飛ぶのですか!!
これは計算外も甚だしい
飛行船では全く歯が立ちませんよ!!!
やはり一刻も早く『飛行機』を実現せねば――
うおっ…!!

ガッ
ズッガァァーン
あらま
てっ…撤退だ……
撤退する

よかった…

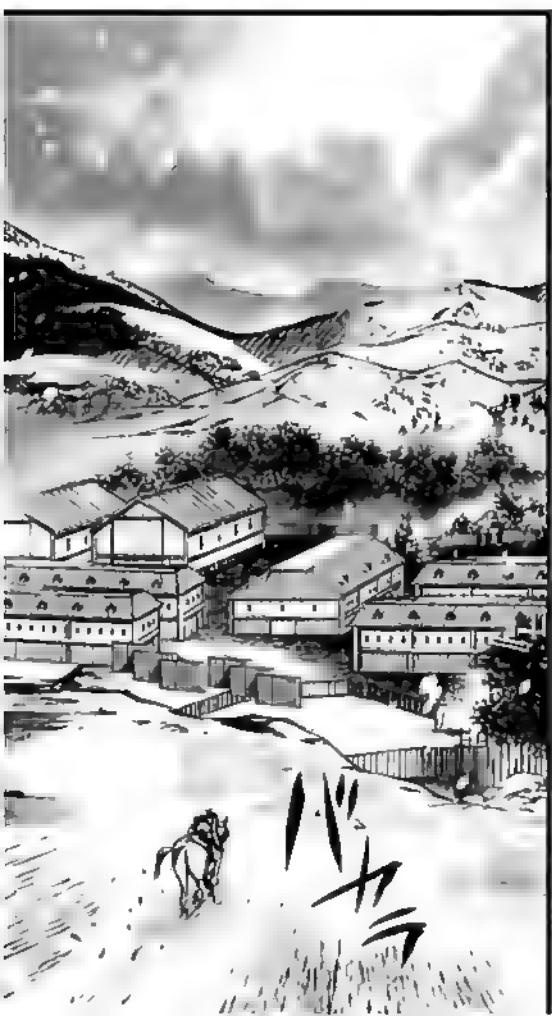
なんとかなった…か…

グレイ!!

グレイさま…

くそう
禁呪の傀儡か……
棄民どもめ……ッ!!!
だがまだ終わりではない!!
ダーラの兵をもっと引き出せば必ずや――

その巻物一本でお前の生涯の俸給など吹き飛ぶんですよ
もっと丁寧にあつかいなさい!!

おやアラギシ殿 生きておいででしたか
ボラール殿……これは……!?
引き上げの用意です
これ以上貴方に力を貸すわけには行きませんので

そんな…!!
北の民の中に神妃(アンブロシア)がいる件
――我々に黙っていましたね？

最新鋭の飛行船を落とされただけでも
貴方がダーラ軍人なら処刑ものです!!
この場で銃殺にならないだけ有り難いと思っていただきたいですな

行くぞ
お待ちください閣下!!
!?
ヤシマ軍の軍勢だと…？

あれは禁軍…!!
中央の切り札がなぜ…!?
もしや援軍を呼んでくださったのですか?
違います
ゴカッ
ザッ
あれは援軍ではありません
懲罰軍です
カナヤ従六位(じゅろくい)!!
馬鹿な…なぜ
中央が…!!
裏切り者である貴方を成敗するために派遣されました
お忘れですか?
ご自分で作らせた便利な道具のこと

くっ…貴様
まさか弾正台（監察局）の回し者か‼
いかにも
――かねてよりの不正の噂を確かめるため潜入しておりました

まずい…これは本当にまずいぞ…
ゾロォ…
ドッ
どこに行くつもりだ？ボラール卿
その旗…貴様アルビオンの……!?
リュカ・ローシュルだ
ドッ

リュカ…!?
それはたしか第四王子の名では…!?
アルビオンの王族がなぜ…!?
ザッ
朕が依頼したのです
—諸外国との交渉にはまだ不慣れ故—
!!!

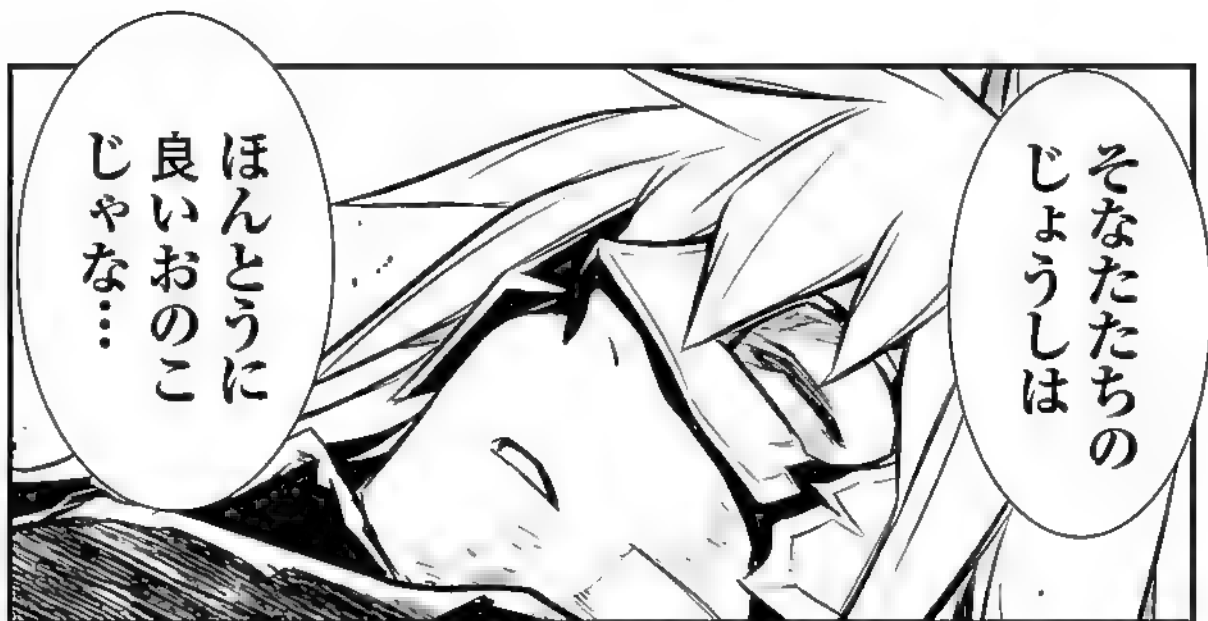
まさか…
天子さま……!!?
分かっていて
その態度はなんです
アラギシ従二位!!
皆もだ
頭が高い!!
ははっ!!
アラギシ従二位
朕は悲しい

ダーラ軍人との
密約に
無断での
北の民への攻撃
もはやそなたの
朕への造反は明確だ
申し開きはあるか？
………
ございません
……
そなたの信頼に足る
君主たり得なかった
自分が情けない
処分は
追って伝える
は…
ダーラ共和国軍の
ボラール閣下と
お見受け致します
…いか
にも…

此度の件
ダーラ本国に
正式に我が名を
以て抗議させて
いただきます
──交渉の窓口は
貴殿でよろしいか？
は…
天子閣下…
こうして
北の地の騒乱は
とりあえずの
解決を見た──
呪装したせいで
ブッ倒れていた
おれがそういった
出来事を知るのは
しばらくあとの
ことになるの
だけれど…

カイ!!!
カイ様!!
少佐!!

…はい!!

神呪世界紀行

【マインドフレア】

そもそも希少種とされている吸血鬼系の種族の中でも、レア度が非常に高く、また伝承や憶測が入り交じったせいでその能力や生態がほとんど解明されていないのが『人の記憶と精神を喰う』マインドイーター、もしくはマインドフレアと呼ばれる種族である。

対象から記憶を奪う方法についても諸説あり『特殊に進化した舌を耳や目から頭部に潜り込ませ脳を啜る』あるいは『顎と歯が発達しており、頭蓋骨を食い破って直接齧る』など、希少性と『脳を喰われる』という恐怖のためか様々な憶測や噂があり、またマインドフレア自身も記憶を奪う過程は秘匿することがほとんどのため、実際の摂取方法は未だに明らかにはなっていない。

だが、神々の時代から科学の時代に移行する過程で、彼らが科学技術や文化の伝播に大きく関与したことは確実視されており、歴史上有名な科学者の中にも、実は何人ものマインドフレアが混ざっていたのではないかと言われており、実際、現在ではいくつかの国の技術専門部署にはマインドフレアが配属されており、技術情報の蓄積や奪取に深く関わっているという。また彼らには『脳の摂食により記憶を奪う』以外に、催眠や精神攻撃の能力があるという噂もあるが、これもまた憶測、もしくは意図的な誤情報の可能性も高く、事実は確認されていない。

Nectar
of divine
curse

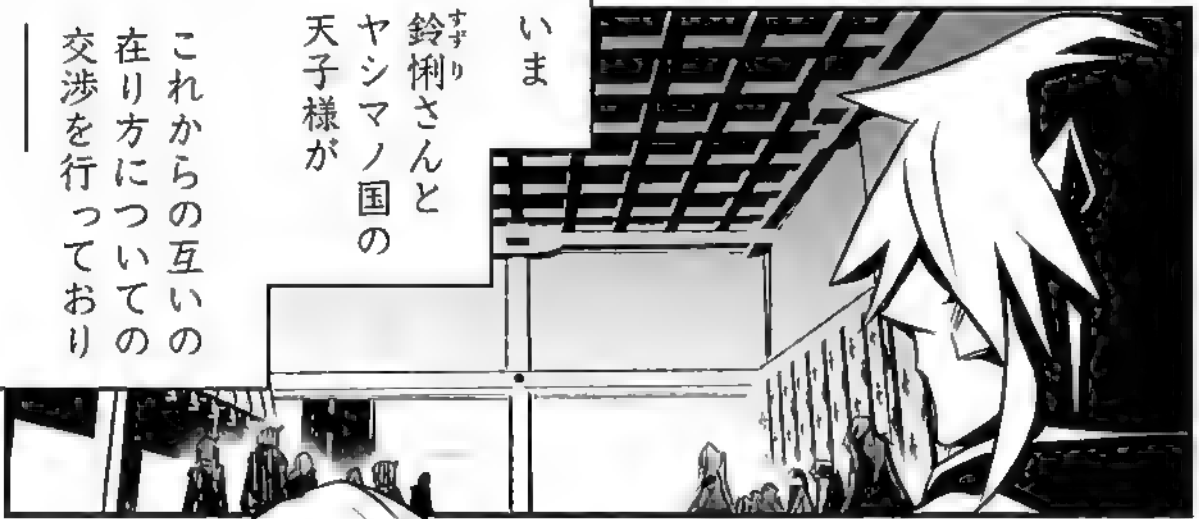
第28話／ヤシマの陰謀
ハサスの里
べつに税をおさめぬといっているのではありませぬ
ただ げんじょうの税率ではわがたみはひあがってしまう
では税率を下げろ と？
それでは不公平になってしまいます

それこそわれらが国をみかぎったりゆうのひとつじゃぞ

そちらには具体的な条件がおありで？

それよ

とっくりはなしあってきめようではないか

いま
鈴悧さんと
ヤシマノ国の
天子様が
これからの互いの
在り方についての
交渉を行っており
──
おれたちは
リュカ殿下の
指示の下で
〝善意の第三者〟
として
両者の仲介と
会談の警備に
あたっていた
会談の警備？

我々がですか？
天子閣下の——
〝聖下〟と呼ぶのが正しいそうだ
失敬 天子聖下の随伴で
ヤシマの〝禁軍〟——でしたか
近衛軍も来ているようですし
谷の住民のほぼ全てが戦えると聞いていますが…
それでも…というか だからこそ
警備が必要だと言っているんだ
——俺たち 何から天子聖下を護ればいいんです？

全てだ
……!!

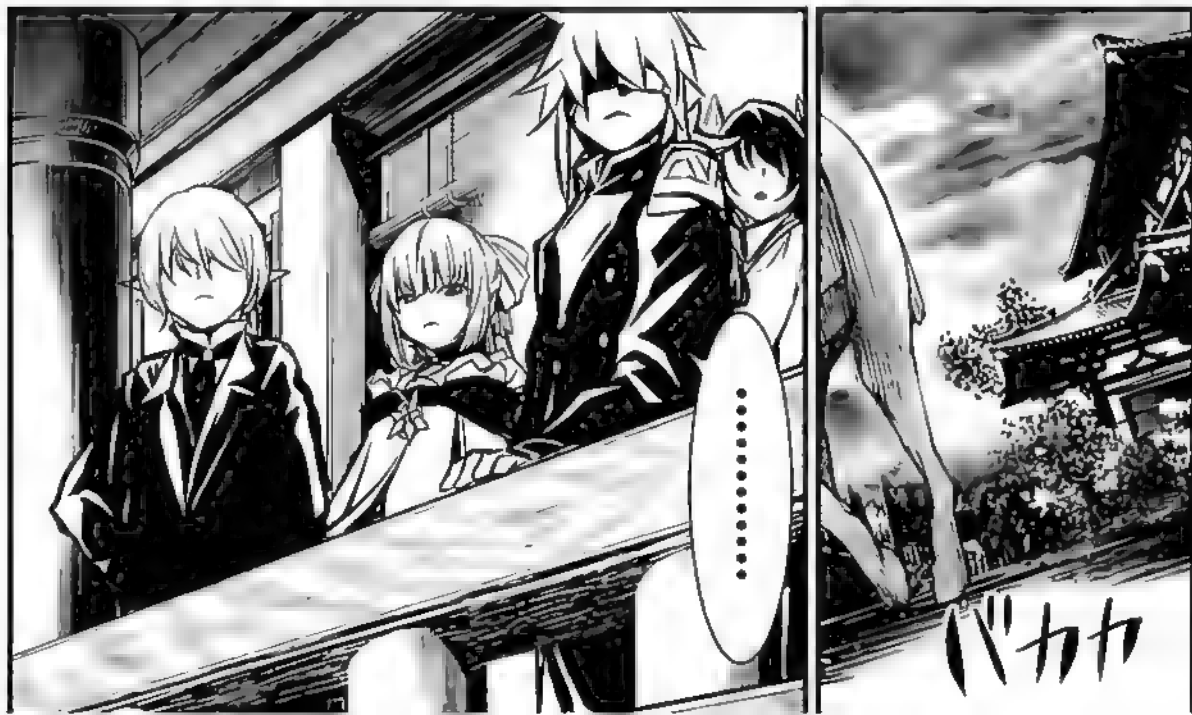
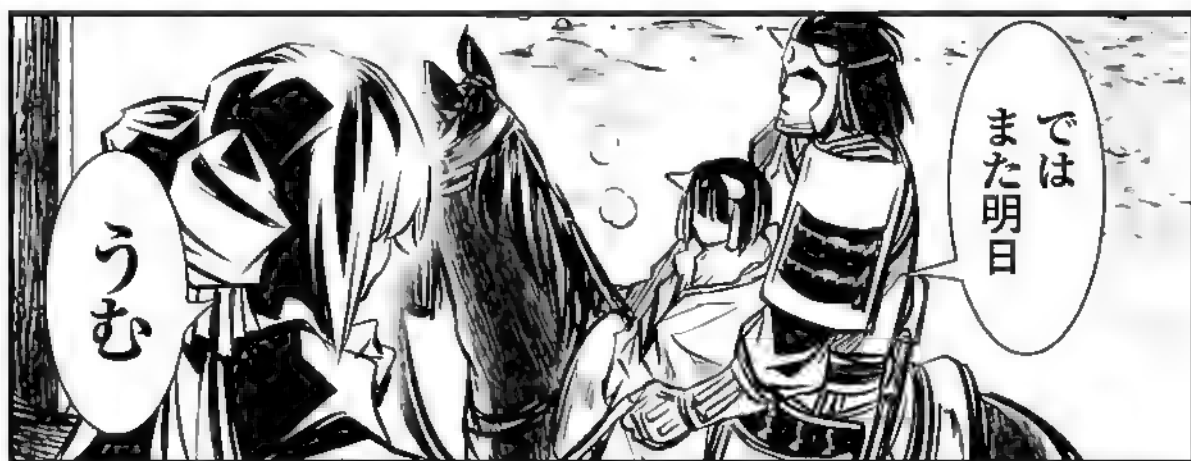
そろそろよもふけてきた きょうはここまでにしたいが…

そうですね
我が方の陣に戻ります
護衛を頼みます グレイ少佐
は――アラン
了解です

ザカ

ではまた明日
うむ

バカカ

…………

天子さま
里にお泊まりになればいいのに……
面子の問題だそうだ
こちらに天子が出向いて交渉しているだけでも
かなりピリピリしている連中もいるようだからな
少し
わかります
体裁が何より大事
という考え方は
私の国…アダールでもありましたから

めんどうではあるが…
けんりょくをたもつためにはたてまえもひつようじゃからの
そういうことだな

改めて皆さんに仰られると説得力がありすぎですよね……
実際
ここにいらっしゃるのはほとんどが王子様やお姫様なのですから…
私なんかが同席していいのか悩みますよ

ガランドアの姫
アルビオンの王子
アダール侯国の姫
ハサスの教母
確かに
なにをいう
どどん

カイはわれらの里をすくった英雄であるしの

リギアどのもそうじゃ

まろうどはひとしくもてなすのがわれらのりゅうぎじゃからの

——にしてもかんぷくしたぞ
カイ

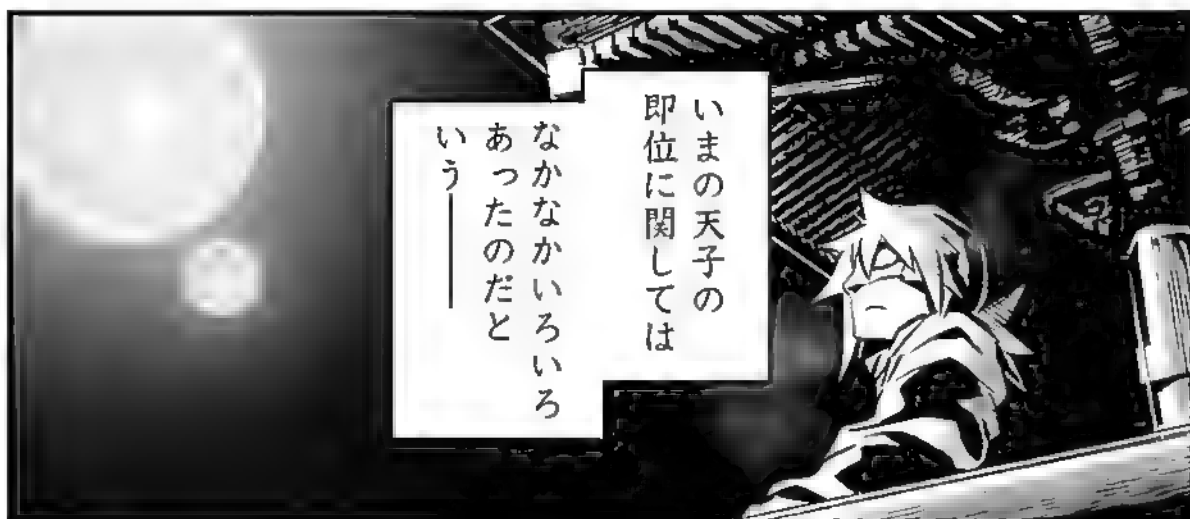
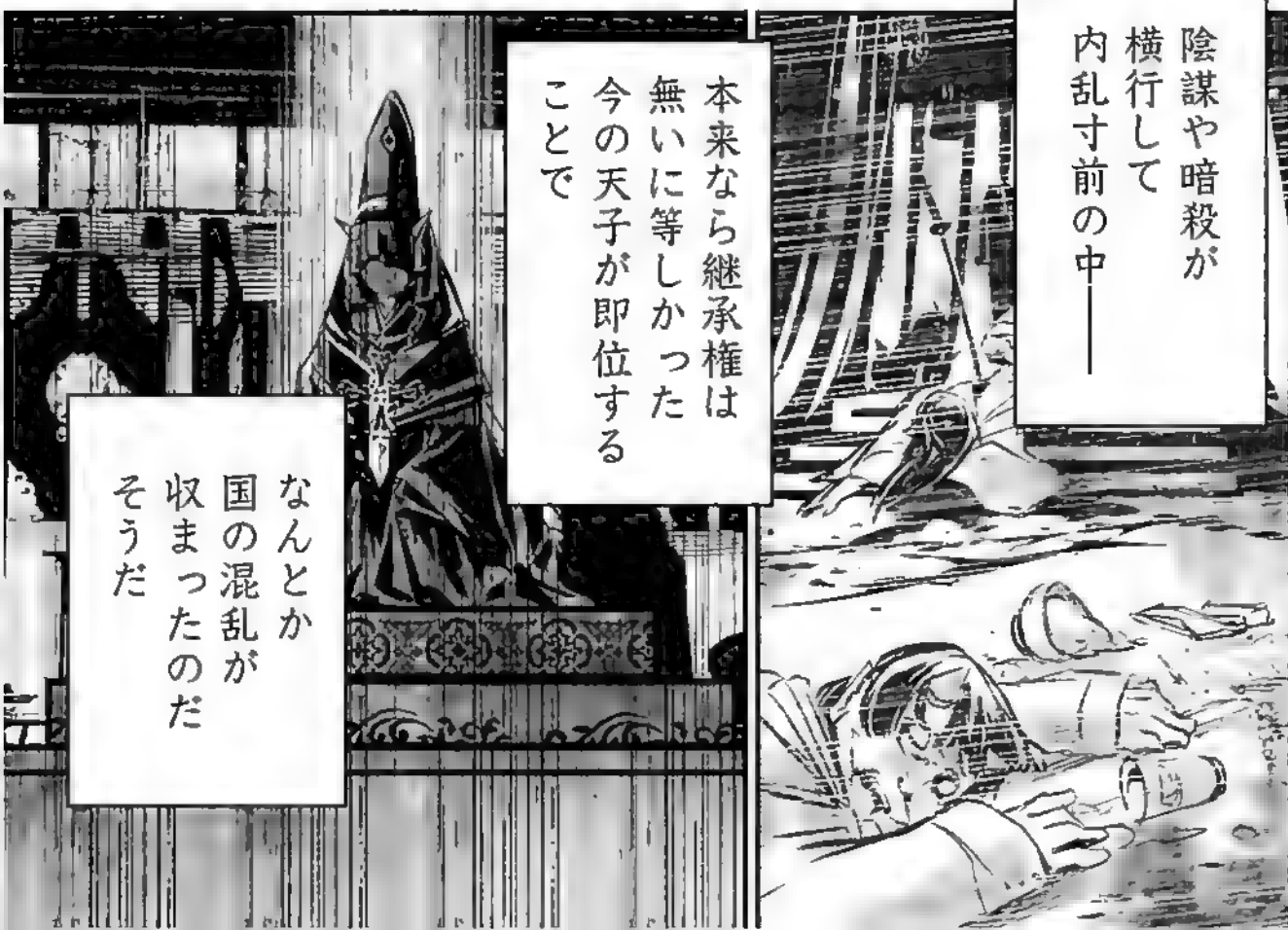
まさかこれほどおおくの美姫たちがみなお手つきとは
さすが英雄じゃ

ぶ

まだつけられてませんっ!!!

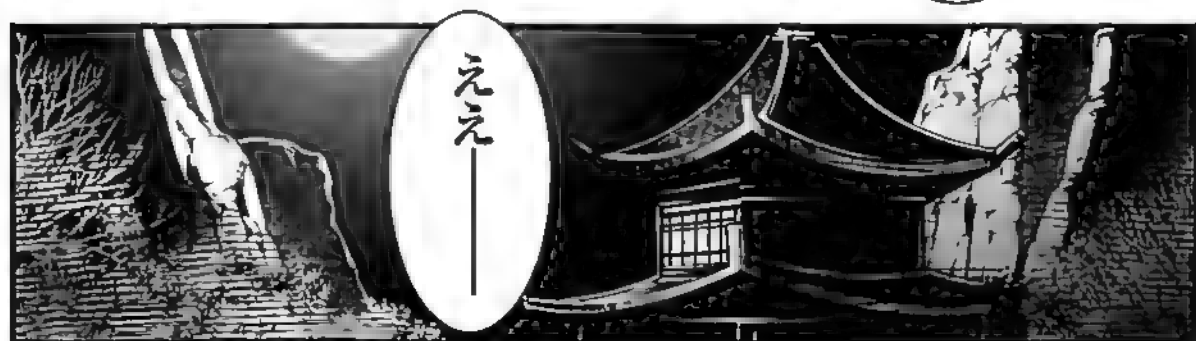
はいっ!!
そうです!!

あばばば…

シボ
ヤシマの煙草…
〝キセル〟と呼ぶそうだ お前もやるか？
いえ 俺は…
なかなか美味いぞ

陰謀や暗殺が横行して内乱寸前の中――

本来なら継承権は無いに等しかった今の天子が即位することで

なんとか国の混乱が収まったのだそうだ

だがいまだに彼を認めぬものも多いらしく
そこへさらに
疎まれてきた北の地への親征を行ったことで
反感が高まっているという――
ハサスの連中にしても中央には虐げられてきた歴史があるからな
天子というだけで敵と見做す者も多い
………

皆
冗談めかしては
いたが…
権力は常に
危険と隣り
合わせだ
…サクラ姫にしても
国を滅ぼされて
命からがら
逃げてきた
わけだしな

ええ——

ツカ
そうだよな

おれは
サクラさんに
アダールの再興を
誓って…
それを果たすために
グレイさんの名を借りて

カイ!!

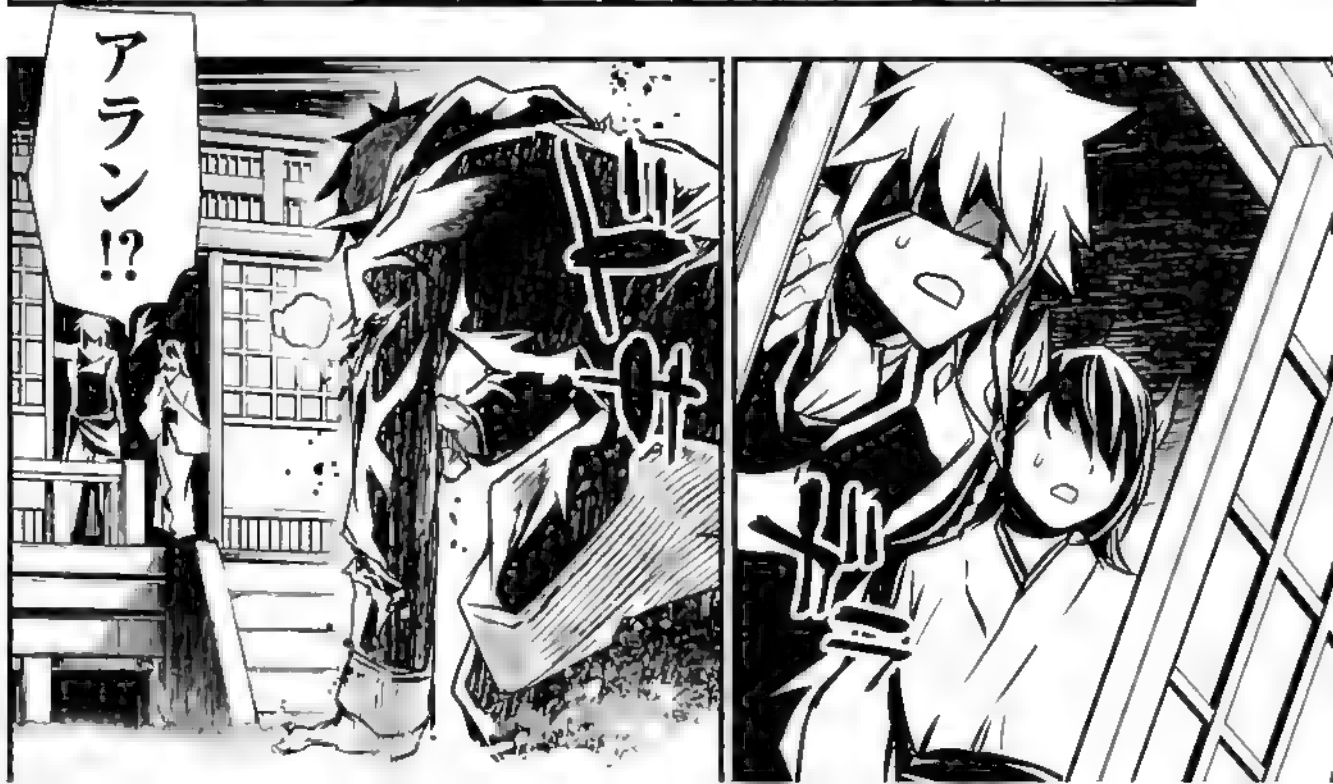
カイさま!!

二人とも
どうして…？

わ
私は別に
よかったんだけど
ドルネアさんが…
最近
あまりカイさまと
ゆっくりお話し
出来ていなくて
寂しかったので
押しかけて
きちゃいました
まあ
寒いし
とりあえずは
中にどうぞ
はい♡
なんだ
やはりお手つき
なのではないか
!!?

えっと…？
鈴悧さまだ
変身できるんだそうだ
え!?
ふふ…二人同時とは
さすが英雄は色を好むというところか

妾も跡継ぎが欲しいのじゃ
少佐の子種を分けてたもれ…
がばっ
はぁ!? ——ってうおっ!!
バタッ
二人も遠慮せず
四人でとっくりと楽しもうではないか
ずむ

そんなの駄目ですっ!!!
グレイ少佐ーッ!!!

何があった!!?

待ち伏せに遭いました

——敵の正体は不明です
俺たちが立ち向かう間に天子様には逃げて貰いましたが——
ドカカ

バカカカ
退路を塞がれ
敵に追われながら付近の森に逃げ込んだ様子です
生き残った部下たちが追跡していますが
いまだ発見できず……
天子にいま死なれるわけにはいかんぞ
わかっています
——サクラさん
お願い出来ますか？
はい
久々の出番だな

——妾が乳房が恋しくなったか？
俺の経験則ですがインドラが一番夜間戦闘向きなんです
そこは嘘でも恋しいと言うところだぞ
——さあ来るが良いこの朴念仁め

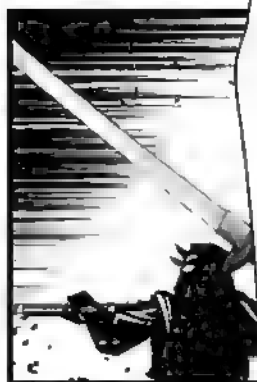
ザカ
ビュオオオ

ザザザザ

ジュザ

ザカ
ここまでですな
聖下
お前は
叔父上の…!!!

貴方が即位したことが間違いなのだ
その過ちは正さねばならぬ
この神州ヤシマのために――
やれ!!!

!!?
な…!!?
バチュン
ガキ

冴え冴えとした
よい月だな…
かくも美しい月夜を
血で彩るは
興醒めなれど――
幼子を多勢で
追い回すのは
無粋の極み

──征け

わが呪われし下僕よ!!!

もしや…わざと襲われ易い状況を？

ありがとうございました少佐
おかげで私の敵が誰か――ようやくはっきりしました

お聞き及びかもしれませんが…私の力は盤石には程遠く――

此度の親征の目的の一つには
獅子身中の虫をあぶり出すこともあったのです
見上げた勇気ですが…危険なことをなさいましたね
ご迷惑をかけて申し訳ありません
ですが――
？

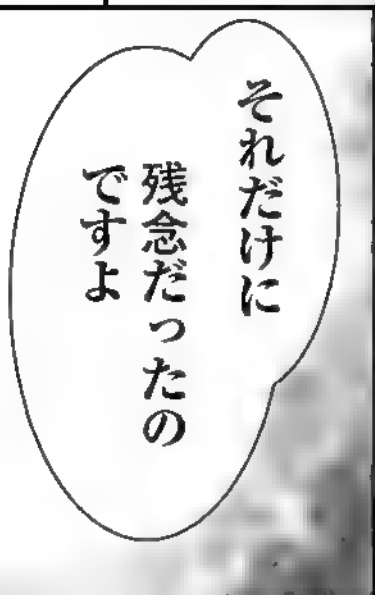
このことを相談したら
少佐たちなら必ず私を護ってくれるからとリュカ殿下が仰ってくださったので
!
…その言葉を違えずに済んでホッとしてますよ
少佐にそう言っていただくと
少し嬉し――
くしゅっ
いけない冷えてしまったようですね
早く戻らないと――
でしたらカイ良いところがありますよ
?

いかがです？
ミュー
カイが行方不明
だったとき
カナヤさんに
教わったんです
ミュー

ああ…これは…!!

とても気持ちがいいですね…

それでも似た風景に触れ
あとは食事──
味噌(みそ)や醤油(しょうゆ)の味に舌鼓(したつづみ)を打ったとき
嫌っていた国であってもやはり懐かしいものなのだと感じました

それだけに残念だったのですよ

異人種を蔑み
また旧態依然な
身分制度で縛られた
この国の姿が――
……
ですが
聖下を知って
希望が
持てました
――どうか
この国を
よりよい国に
してください
グレイ少佐は…
本当にエルフなのですか？
その耳と目の色は――
人には
秘密があるもの
ですよ

……

私は…正直で
いたいのです

周りのものは
為政者は時に
嘘も必要で…

優しくあっては
いけない
厳しくあらねばと
皆言うのですが…

では
強くおなりなさい

俺も言われたのですよ
俺が尊敬する人に
弱いのに
優しく在りたいというのは傲慢だと
優しく在るためには…そして
それを貫くには
力が必要なんです

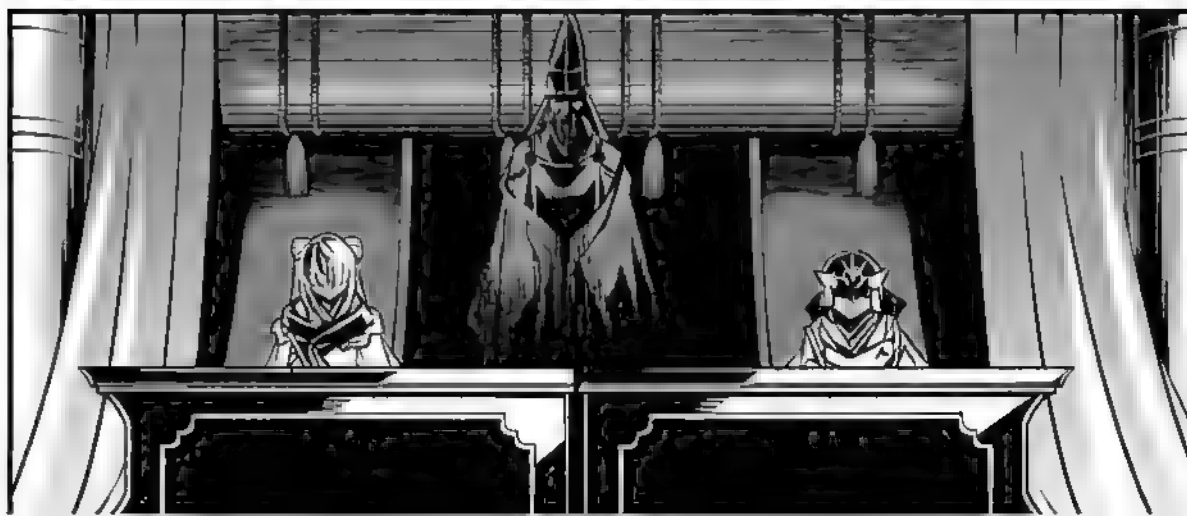
力が…

だから
少佐はそのように
強いのですね

まだまだ
ですよ
俺も

――そう
本当にまだまだだ

……グレイさん…
おれは――

少しは貴方に
近づけたでしょうか

いま
両聖下によって
新たな約定への
調印がなされた
この約定により
本日より
この北の地は
〝北海自治州〟として
ヤシマノ国に
属する自治州
となることを
ここに宣言させて
いただきます

また
ヤシマノ国は
アルビオン王国との
間に通商条約を
締結したことも
併せて発表
させていただきます

さて…これで
ようやくこの国での
仕事も終わりか…
一時はどうなるかと
思いましたがね
ふん…
殿下
——たったいま
親書が
届きました
本国からです
見せてみろ
陛下の名義で
俺とグレイに
本国への
召喚命令が出た

俺が…ですか⁉
そろそろ来るころだろうと思っていたがな
――一旦アルビオンに帰国する
無論お前もだカイ

【天子】

ヤシマノ国の歴史書によれば、現在のヤシマノ国の絶対主義的君主である〝天子〟は数えて122代目であり、幼名はマユラヒコ、若干10歳にて即位した非常に若い君主である。

一部の北部に住む住人たちが、傭兵などを生業に海外に出稼ぎに出ていた以外は、長らく鎖国状態にあったヤシマノ国だったが、現在より20年程前に、立て続けにダーラ共和国とアルビオンのレムリアンカンパニーが来訪、双方より開国圧力を受け、これにより勃発した開国派と鎖国派の争いの中で、当時の天子（120代）が暗殺されるという事件（『キナシロ事変』）が発生する。

以来、10数年間にわたり開国派と鎖国派を廻る内乱状態が発生、この内乱で新たな天子候補が乱立し、短期間に自称を含め合計８人の天子候補が立つ（うち、正式な手続きを踏んで叙任されたのはタカキヒコ一名のみ。121代目天子）が、いずれも短期間で倒れた。

この内乱は最終的には開国派が勝利し、彼らによって担ぎ出されたのが、天子の血を引く一族である〝天孫〟のなかでも傍流の家系となるサギナ家のマユラヒコであり、幼帝ゆえに開国派の重鎮たちの傀儡になるかと思われたが、意外にも失墜した鎖国派を取り込み翌年には摂政を廃し親政を開始した。

以来、次々と西洋諸国に追いつくべく改革を進めており、その手腕に期待がかかるが、厳重な身分制度や人種差別問題など、根深い課題も多く残されている。

特別編／リギアの休日2 ―ダンス・ウィズ・メイジャー―
ザザ…
国王陛下より召還命令を受けたグレイ少佐とともに帰国の途についた我々は――
数週間の航海を経て本国（アルビオン）まであと一日の距離に迫っていた
帰港祝いのパーティですか…
ああ 我々を無事送り届けてくれた船員たちを労う意味もあるそうだ

姫君たちも是非参加して
ヤツらの目を楽しませてやってくれ

楽しみですね!!

せっかくですからいっぱいおめかししましょう
ね
サクラさん!!

はい！

それはありがたい
皆も喜ぶでしょう

ぎ

……隊長はしないんスか？
おめかし

…何の？
アピールだよ
アピール!!
少佐に
アプローチする
絶好の機会だろ
ああ!!
つっても
どーやって？
ん.
どうしたの？

あ
ニアさん
じつは
かくかく
しかじか…
ふーん
なーんだ
そんなの
ラクショーじゃん

ネレイアで
とてもいい香油を
いただいたんです

わぁ
ほんとに
いい香り…
…
どうですか
リギアさんも
ご一緒に——

おめかし♡

私は結構です!!

ネレイアの時は一緒におしゃれして踊ってくれたじゃないですか

あ あれは任務のためで…!!!

ざばっ

え!? 皆さんきっと期待してますよ?

——とにかく!!

そのような華やかな場など私にはもはや無縁の世界なのです!!

バシャ

カッ

私は可憐に咲く華としてではなく

戦場を駆ける〝剣〟として生きると決めたのですから!!!

あれ？
カラ…
ないっ!!!
私の服がっ
着替えが…!!
どうしましょう
パーティーは
すぐですよ!?
どこに!?
ひょこ
あ——
それなら
いいモノが
ありますよ

くっ…
何の陰謀だ
これは…
いいじゃないスか
隊長!!
似合ってますよ
全然
よくない!!!
こっちを
見るな!!
命令だ!!
そんなことは
ない!!
素敵じゃないか
大尉!!
少佐!!
い
いえこれは
その……

ほら
いや――手本がないと皆も踊れませんしね!!
ワァーン
ん・・・
まあそういうことなら・・・
大尉
カァァァ
ドキ
ドキ
拙いリードだが――俺と一曲踊ってくれないか?

私…私が
少佐とダンス…

少佐と…

バクン

バクン

バクン

い…いや待て
私!!
軍人として
剣として生きるのでは
なかったのか…!!

ぷしゅ〜

ぐる

ぐる

すっ
すみません!!
お手洗いに!!

ダッ

ふみ

ガラガシャーン

バ──ッ
いやあああ──〜〜!!!

パサ
大尉
怪我はないか!?

すまない
たまには
任務を忘れて
羽を伸ばして
もらいたかった
んだが
かえって無理
させてしまった
か…

『神呪のネクタール』第⑦巻／完

あとがき

前巻から数ヶ月のご無沙汰です。
『神呪のネクタール』第7巻、手にしていただき本当にありがとうございます!

× × ×

というわけで——まずはスミマセン! m(_ _)m
……と土下座するところから始めさせていただきます。つーのも、前巻のあとがきで『はたしてカイはロリ少女のおっぱいを吸えるのか!?』みたいな煽りをしておきつつ、実は鈴悧の正体は——という展開になっておりまして……。いや、一応ちゃんとおっぱいは吸ってるわけですが、変化球というか直球勝負じゃない(同じことだ)のは、素直に謝罪しておきます。期待してた方、ほんとごめんなさい。
だって「さすがに今のご時世、やったらガチでアウトですからね!」とへんしゅーちょーにクギを刺されまして……。嗚呼。佐藤さんとこのネクタールの前に描いていた『聖痕のクェイサー(全24巻絶賛発売中!)』では、ロリっ子にもいろいろあんなことやこんなことしてたというのに。これも時代の趨勢でしょうか。ホント、生きにくい世の中になったものです……。

× × ×

だからと言って、めげてばかりもいられません。
次巻では、ついに舞台はリュカやリギアたちの本国であるアルビオン王国へと移り、女王さまとか王子様とかいろいろ一杯出て来ます。しかもメインの舞台はなんと学園! なぜかと一とつにスタートする『神呪のネクタール 学園編』ですが、それでもますます熱く激しく展開して行くつもりですので、皆さんも引き続き応援のほど、何卒よろしくお願いいたします!!

皐月某日 吉野弘幸

神呪(しんじゅ)のネクタール 7

2019年7月25日　初版発行

著　者　吉野弘幸(よしのひろゆき)・作

佐藤健悦(さとうけんえつ)・画

発行者　石井健太朗

発行所　株式会社 秋田書店

〒102-8101　東京都千代田区飯田橋2-10-8
☎編集(03)3265-1326　販売(03)3264-7248
製作(03)3265-7373
振替口座　00130-0-99353

印刷所　大日本印刷株式会社

Printed in Japan

ISBN978-4-253-23832-8

デジタル版　2019年発行
製作所　デジタルカタパルト株式会社
http://www.digital-catapult.com